

種目名	保 健	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	大日本図書
-----	-----	---------	-----	--------	--	---------	-------

発行者 観 点	東 書	大日本	大修館	文教	光文	学研
1 学習指導要領との関連	<p>・生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力の育成を目指すして、図や動画、写真から課題を見付けさせ、解決に向けて4ステップ構成で学習を進めることができよう工夫されている。</p> <p>・個別最適な学びにもつながるよう学習課題を自分事として捉えることができるよう、日常的な出来事をイラストを用いて問題提起ができる編集となっている。</p>	<p>・保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力の育成を目指すして、図や実習資料、動画などを利用し、生きて働く「知識・技能」の習得ができるよう工夫されている。</p> <p>・見方・考え方の育成を重視し、自己の課題を見つけ解決するため、学習したことを生活で生かす活動を小単元の終わりに取り入れたり、多彩なQRコンテンツが掲載されたりしており、それらを参考に主体的・対話的で深い学びにつながる授業を目指した編集になっている。</p>	<p>・保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力の育成を目指すして、図や動画、写真から課題を見付けさせ、解決に向けて3ステップの構成で学習を進めることができよう工夫されている。</p> <p>・学習した知識・技能をより広げ、深められるような豊富な資料を活用し、心身の健康の保持増進と関連付けられることを目指した編集となっている。</p>	<p>・保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力の育成を目指すして、課題を見付け、考えをまとめ、身に付けたことを生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>・学んだことを踏まえ、思考・判断・表現等の育成を目指すとともに、自分事と捉え考える機会を授業展開に入れることで、心身の健康の保持増進を目指した編集となっている。</p>	<p>・保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力の育成を目指すして、身近な生活と関連させ、日常生活で実践できるように工夫されている。</p> <p>・児童が主体的に学習することができるよう、「見つける」「知る」「生かす」の3つの要素で構成され、健康の保持増進につながる実践を多く取り入れた編集となっている。</p>	<p>・保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力の育成を目指すして、課題を見付け、友だちと共有し、自分の考えをまとめ、身に付けたことを生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>・各項目を「導入（課題をつかむ）」「ピース①（自ら取り組む活動）」「ピース②（対話的な活動）」「ピース③（活用）」で構成し、児童が主役の学びができるような授業が行える編集となっている。</p>
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	<p>・多様な人々とともに生きる様子を、キャラクターを中心に示し、障害のある人に対する理解と支援についての関心を引き出すように工夫されている。</p>	<p>・性の多様性やジェンダーについて発達段階に合わせた解説を掲載することで、多様な存在を尊重したり、自分自身を大切にしたりできるように工夫されている。</p>	<p>・「共生社会の実現」に向け、多様性の尊重を行うメッセージを記載したり、各章の導入には、著名人やアスリートのインタビューを記載したりする。</p>	<p>・多様な人々とともに生きる様子や人権上の配慮を、キャラクターを中心に示し、性別や国籍、障害のある人それぞれの役割に偏りが無いように工夫されている。</p>	<p>・多様性の尊重・個性の尊重に向け、これまでの自分の考えと比べながら、様々な場面を想定し広く考えられるよう、SDGs と関連付けた工夫</p>	<p>・多様な学びへ対応するため、保健学習を通して道徳、キャリア教育、食育との関連性がもてるよう、動画や本文で紹介し、児童自ら学ぶことができ</p>

		る。 ・多くのQRコンテンツが掲載されていることにより、ICTを活用した個別最適な学びと社会とつながる協同的な学びに近づける内容となっている。	夫されている。 ・多彩なウェブコンテンツのシミュレーション、アニメーション、リンクなどにより、学習項目に関連付けて、現代的な諸課題を通して、多角的に学ぶことができるよう、工夫されている。	ることで、主体的な学びのスタートになるよう工夫されている。 ・外部のサイトおよびオリジナル動画、確認問題、資料等が掲載されたデジタルコンテンツの充実により、ICTを活用した個別最適な学びへとつながる内容となっている。	夫されている。 ・地域の保健活動や職業に関係のある人、アスリートからのメッセージを載せたり、QRコンテンツにおいて動画・補足資料を掲載したりすることで、日常生活やキャリア教育に生かすことができるよう工夫されている。	がされている。 ・QRコンテンツにおいて動画・補足資料を掲載することで、児童の主体的な学びをサポートし、多面的・多角的に保健の学習を理解し、興味・関心に応じて、自ら調べ、学ぶことのできる内容となっている。	るように工夫されている。 ・動画や資料が集録されたQRコンテンツが学習の展開に沿った位置にそれぞれ配置されていることで、子どもや教師が適切なタイミングでそれらを使用することができる内容となっている。
3 内 容	(1)内容の 選択	<u>東書</u> ・保健の学習のはじめに健康の大切さが強調されており、健康でいたいと思う心に気付いたり、命の大切さを再認識できたりする内容が選ばれている。 ・保健の見方、考え方を働かせ、課題を見つけ、その課題に向けた学習内容を通して生涯にわたる心身の健康を保持増進するための資質や能力を育成できるような内容が選ばれている ・生活場面を想起させる写真やイラストを配置し、健康や安全についての課題に気付いたり、見つけたりする内容が選ばれている。	<u>大日本</u> ・アスリートへのインタビュー内容を掲載し、多様な立場の人々が運動を通して活躍していることを理解できる内容が選ばれている。 ・保健の見方、考え方を身に付けることができるよう、各小単元で学習課題と学習内容が明確に示されており、思考を深め、深い学びが実現できるような内容が選ばれている。 ・単元の導入で、簡単な運動やキャラクター探し、チャートを掲載し、児童が自ら学習課題に気付く、主体的に取り組める内容が選ばれている。	<u>大修館</u> ・「体育の窓」では、保健と体育を関連付けることで学びが深まるような学習内容が選ばれている。 ・保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質能力を育成できる内容が選ばれている。 ・各小単元末にQRコードが用意され、その単元に合わせた動画コンテンツや教材を視聴することができ、学習を深め	<u>文教社</u> ・単元ごとに日常生活を想起させる内容が配置され、見通しをもって、進んで課題解決に向かうことができる内容が選ばれている。 ・保健の見方・考え方を働かせ、身近な生活や環境の中から学習課題を見つけ、自ら解決し、知識理解を深めることができる内容が選ばれている。 ・「アスリートからのメッセージ」として、経験者の言葉から、課題に対する関心や課題解決につながる内容が選ばれている。 ・「もっと考えよう課」「もっと知ろう課」	<u>光文</u> ・保健に関連する職業や専門家の人の話を掲載し、児童の気付きを促す内容が選ばれている。 ・保健の見方、考え方を働かせ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成できるような内容が選ばれている。 ・学習を見通せる導入では、児童の好奇心探究心を刺激する内容の4コマ漫画で提示し、児童が自分事として関心がもてる内容が選ばれている。 ・成長には個人差があることや、一人ひとりの個性を認めることの大切	<u>学研</u> ・一つの小単元に対して様々な視点から学習することができるよう、細やかで分かりやすい内容が選ばれている。 ・保健の見方、考え方を身に付け、働かせることができるように課題解決的な学習過程を重視する内容が選ばれている。 ・各項目のはじめに「学習の進め方」「学習の課題」が明示しており、児童が興味、関心をもって学習に取り組めるような内容になっている。 ・随所に実習や実験が設けてあり、体験活動を重視した内容になっている。また、「お家で」、「地

	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人差や自分らしさの記載が随所にあり、個人の価値を尊重する態度を養う内容が選ばれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習してきたことがSDGsとどのように関連するのか、いつでもSDGsについて振り返られるような外部リンクを設けるなど工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容が選ばれている。</li> <li>写真やイラストなど多様性を重視し、国籍や障害などの偏見につながらないように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>として既習の課題から児童が自らで学習を深めていけるような内容が選ばれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さが強調されている。また、性の多様性にも触れ、性的マイノリティの児童が安心して学習に取り組める内容が選ばれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>域で」など家庭や地域との連携を考えた内容が選ばれている。</li> </ul>
(2) 内容の程度	<p><b>東書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他学年や他教科の学習内容との関連を明示し、他教科とのつながりをとらえやすく、系統的に学習できる構成になっている。</li> <li>補足的な資料が必要に応じてバランスよく配置されている。章単元の終わりには、発展的な資料を掲載し、児童に分かりやすく、興味深く取り組める適切な分量である。</li> </ul>	<p><b>大日本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「つかもう」「調べよう」「活かそう」と3つの要素で、学習のつながりを明確にし、段階的・発展的に学習が進められるようになっている。</li> <li>各小単元末にQRコードが用意され、その単元に合わせた複数の動画コンテンツや教材を視聴することができ、学習を深められるよう工夫されている。</li> </ul>	<p><b>大修館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育の窓を中心に運動領域の学習内容を積極的に取り上げ、運動と健康との関連について具体的な考え方をもてるよう配慮してある。</li> <li>毎時間の小単元の最後にウェブクイズ「保健クイズにトライ」を用意し、その時間に学んだ知識の確実な定着を促すよう工夫されている。</li> </ul>	<p><b>文教社</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各小単元の最後にウェブコンテンツが用意され、動画を視聴することができ、児童の興味・関心を引き出すだけでなく、確かな知識・技能の定着を促すよう工夫されている。</li> <li>各単元の最後に「わたしの〇〇せん言」を明示し、今後の自分の課題を考えさせ、運動に親しみ体力の向上を目指すため、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> </ul>	<p><b>光文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年の「けんこうってなに」から始まり、体の成長、心の健康、病気の原因と第6学年まで児童の発達段階に応じた学習内容になっている。</li> <li>ウェブコンテンツを使用し、動画や画像、補足資料など児童の学びを助け、理解を深められるよう配慮されている。</li> </ul>	<p><b>学研</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合う、記述する、表現するなど、コミュニケーション能力や論理的な思考力育成を促すための言語活動が取り入れられている。</li> <li>各項目に資料「ほけんのはこ」を設け、発展的な知識を身に付け、思考・判断・表現する力を高める工夫がされている。</li> </ul>
(3) 内容の構成	<p><b>東書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他学年の内容と関連することがマークで明示されており系統性のある指導ができるよう配慮されている。</li> <li>各項がステップ1～ステップ4で構成され問題解決の過程が分かりやすく示されており、主</li> </ul>	<p><b>大日本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科横断的な学習を、ひと目でわかるようにアイコンで示したり、中学校の学びにつなげられるようにしたりするなど、学習内容の系統性や他教科との関連が考慮された構成となっている。</li> </ul>	<p><b>大修館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各小単元の最後に「まとめ 生かそう 伝えよう」があり、学習過程で身に付けた考え方を、次の学びにつなげられるような構成となっている。</li> <li>3ステップで編成し、学習の流れがわかりや</li> </ul>	<p><b>文教社</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各小単元の最後に毎回「もう一歩先の自分へ」があり、学習の中で身に付けた知識や技能を、発展的に考え、高めさせることができるよう構成されている。</li> <li>調べ学習や生活を振り返ることを「ミッション」や</li> </ul>	<p><b>光文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発達段階や興味関心に応じて、身近な生活との連携を図り、これからの日常生活における実践に結び付けられるような発問で構成されている。</li> <li>単元のはじめに自分の生活を振り返ることで、問題意識を高めてから</li> </ul>	<p><b>学研</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各項目を自ら取り組む活動、対話的な活動、活用と3段階構成されており、課題解決の過程を順序だてて学べるようになっている。</li> <li>児童がせりふで語り掛ける形式を用いて、親しみをもちつつ、主体的に</li> </ul>

	体的・対話的で深い学びができるよう配慮されている。	・活動は「話し合ってみよう」などグループで行うものを多く取り扱っており友達意見を聞いたり、認めたりすることができるよう配慮されている。	すく、主体的・対話的で深い学びにつながる構成になっている。	「ステージ」としていることで児童の学習意欲を沸き立たせ、自主的に課題を解決しようという気持ちになるよう配慮されている。	学習の課題を提示することで児童が関心をもって主体的に取り組めるよう構成されている。	学習に取り組めるよう工夫されている。
4表記・表現及び使用上の便宜等	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストはわかりやすく学習の事項を的確に表現する内容となっており、児童にとって親しみやすいものとなっている。</li> <li>バーコードリーダーやアドレスからインターネットで見られる資料が用いられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストや写真、図などでわかりやすく鮮明に表現されており、学習事項を明確に捉えられるよう工夫されている。</li> <li>グラフや表は児童が視覚的にとらえやすいよう配慮されており、データも最新のものが採用されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やイラストは鮮明で、色合いは柔らかく、黄色や緑系統の色味を多く使用することで児童にとって安全配慮された学習を進められる工夫がされている。</li> <li>資料は新しいデータを使用し、グラフなど大きく、はっきりと見やすいものとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真は鮮明で大きく資料性が高く、効果的に活用している。</li> <li>文章は、重要な語句の字体を変えて強調しており、親しみやすい会話形式の文章が多く用いられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストや写真は鮮明で見やすく、男女の比率やそれぞれの役割に偏りがないように構成されている。</li> <li>各単元では学習の課題が最初に提示され、どのような学習をするのか、視覚的にわかりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストや図は、多様性を尊重し、人数や役割、配色などが固定的な表現とならないように意識して用いられている。</li> <li>各学習のまとめでは、教科書に書き込むだけでなく、教科書のバーコードリーダーを読み込むことでタブレットからの書き込みもできるよう工夫されている。</li> </ul>
	<b>東書</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に柔らかい色調で、イラストは輪郭線が太く明確である。写真も鮮明で、文字の大きさは見やすく、強調したい言葉は太字であったり、文節改行されたりしており、読解しやすい。</li> <li>ユニバーサルデザインの観点から、UDフォントの観点から、UD教科書体を使用したことで、視認性も高くな</li> </ul>	<b>大日本</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に明るい色調で、図表、写真やイラストは鮮明で美しい。文字の大きさ、字体も見やすい。文節改行されており、読解しやすい。</li> <li>ユニバーサルデザインの観点から、UDフォントカラーUDを使用しており、見やすくなっている。マークの表記が統一されていて分かりやすい。</li> </ul>	<b>大修館</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に柔らかい色調で、イラストは輪郭線が太く分かりやすい。写真は鮮明で、文字の大きさ、字体も見やすい。文節改行されており、読解しやすい。</li> <li>ユニバーサルデザインの観点から、UDフォントカラーUDを使用しており、見やすくなっている。マークの表記が統一され</li> </ul>	<b>文教</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に明るい色調で、図表は明確な色遣いがし見やすい。写真は鮮明で、文字の大きさ、字体も見やすい。文節改行されており、読解しやすい。</li> <li>ユニバーサルデザインの観点から、配色や書体が配慮されている。マークの表記が統一されて分かりやすい。</li> </ul>	<b>光文</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に柔らかい色調で、イラストは明確な輪郭で描かれており、写真は鮮明で、文字の大きさ、字体も見やすい。文節改行されており、読解しやすい。</li> <li>ユニバーサルデザインの観点から、UDフォントカラーUDを使用しており、見やすくなっている。マークの表記が統一され</li> </ul>	<b>学研</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷は鮮明であり、色彩は目にやさしくソフトに仕上げている。全体的にシンプルで落ち着いた印象である。写真は鮮明で、文字の大きさ、字体も見やすい。</li> <li>ユニバーサルデザインの観点から、UDフォントカラーUDを使用しており、見やすくなっている。マークの表記が統一され</li> </ul>

	<p>っている。マークの表記が統一されていて分かりやすい。</p> <p>・造本は堅ろうで、再生紙・植物油インキが使用されていたり、用紙は書き込みのしやすいつや消しの白色再生紙で軽量の紙を使用したりするなど、2年間の使用に耐えられるようになっている。サイズはA判になっている。</p>	<p>・造本は堅ろうで、製本はあじろ綴じとし、奥まで開くことができ、再生紙・植物油インキが使用されていたり、表面には衛生面に配慮したニスを塗布したりするなど、2年間の使用に耐えられるようになっている。サイズはA判になっている。</p>	<p>ていて分かりやすい。</p> <p>・造本は堅ろうで、再生紙・植物油インキが使用されていたり、軽量で筆記特性に優れた紙を使用したり、表面は汚れを防ぐ加工をしたりするなど、2年間の使用に耐えられるようになっている。サイズはA判になっている。</p>	<p>・造本は堅ろうで、環境に配慮したインキを採用し、2年間の使用に耐えられるようになっている。サイズはA判になっている。</p>	<p>ていて分かりやすい。</p> <p>・造本は堅ろうで、製本には針金を使わず、環境に配慮している。再生紙・植物油インキが使用されていたり、軽量で筆記特性に優れた紙を使用したり、表紙は汚れを防ぐ加工をしたりするなど、2年間の使用に耐えられるようになっている。サイズはA判になっている。</p>	<p>ていて分かりやすい。</p> <p>・造本は堅ろうで、再生紙・植物油インキが使用されていたり、軽量で書きやすさに優れた紙を使用したり、防水加工を施した表紙が強度を高めたりしており、2年間の使用に耐えられるようになっている。サイズはA判になっている。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------